



50000-XGER-K0S0 SPORTS SUSPENSION KIT

for HONDA CIVIC TYPE-R

取 付 ・ 取 扱 説 明 書

この度は、無限製品をお買いあげ頂きありがとうございます。

このキットは、ホンダCIVICタイプR（EK9） 専用に設計したものです。

安全にドライビングを楽しんでいただくために、以下の注意点を正しくご理解の上、ご使用下さいますようお願い申し上げます。

取り付け後は、本書を必ずお客様にお渡し下さい。

【ご注意】

1. サスペンションキットの装着は、ホンダディーラーもしくは専門の整備工場等（認証工場）で行って下さい。

☆サスペンションの取り外しに際して、ブレーキ関係の部品を外す場合は、分解整備の対象となるため、認証工場にて交換作業をして下さい。

☆経験のない方のみでの組み付け作業は、怪我や事故または走行中の車両トラブル等をまねく恐れがあり、大変危険ですので、絶対に行わないで下さい。
2. 本製品の装着により、車高が下がりますので（最大約20mm）、縁石、駐車場の車輪止め、段差や凹凸路面の通過時は、接地しないよう十分ご注意下さい。
3. 本製品は、ホンダCIVIC タイプR（EK9）への装着を目的として、保安基準に適合する仕様で開発された商品です。適合車種に正しく装着された場合は、改造申請は不要ですので、装着したまま車検を受けられます。
4. 本製品の加工、組み付け不良、誤使用による不具合・事故等については、弊社では一切責任を負いませんのでご了承下さい。
5. 経年変化等により、サスペンションの機能を十分果たさないと判断した場合は、販売店に相談し、新品に交換する等して下さい。

ご不明な点がございましたら、下記までご連絡下さい。

〒351-8586 埼玉県朝霞市膝折町2-15-11

株式会社 M-T-E-C 商品事業部 商品課 国内営業ブロック
《営業時間 9:00~18:00》

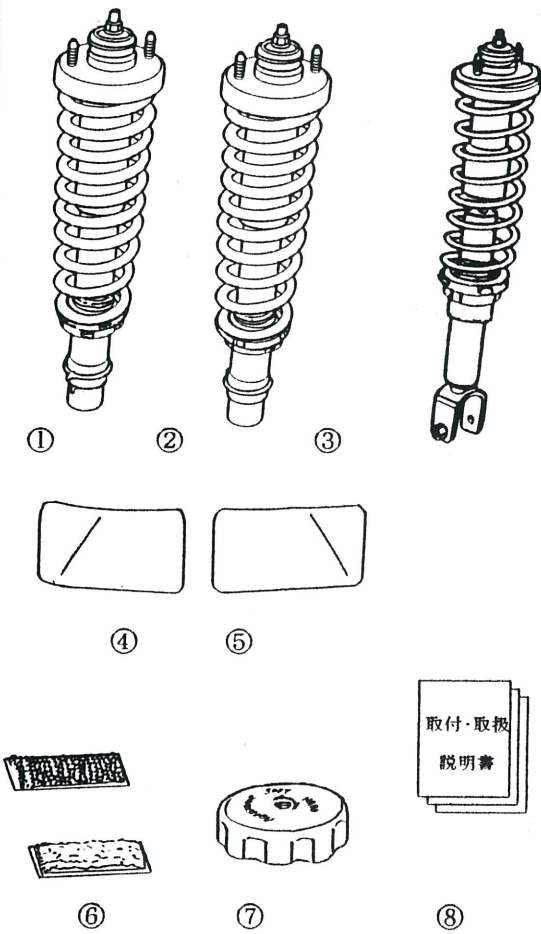
TEL. 048-462-3135 FAX. 048-462-3121

<仕様表>

	減衰力 (スタンダード比) 0.3m/s 伸び側/圧縮側	スプリングレート kgf/mm	車高設定	適応車種 [型式]
フロント	132~97% / 112~101%	K = 5.0 (K = 4.3)	最小=スタンダード と同等 最大=-20mm	CIVIC タイプR [EK9]
リヤ	143~119% / 125~106%	K = 4.6 (K = 4.2)		

↑ () 内はスタンダード

<部品表>

キット品番 50000-XGER-KOSO		
構成部品		数量
	①R. フロント ダンパ ASSY.	1
	②L. フロント ダンパ ASSY.	1
	③リア ダンパ ASSY.	2
	④ADJリッドR.	1
	⑤ADJリッドL.	1
	⑥マジックテープ (A, B)	1
	⑦リアアジャスタ	1
	⑧取付・取扱説明書 (本書)	1

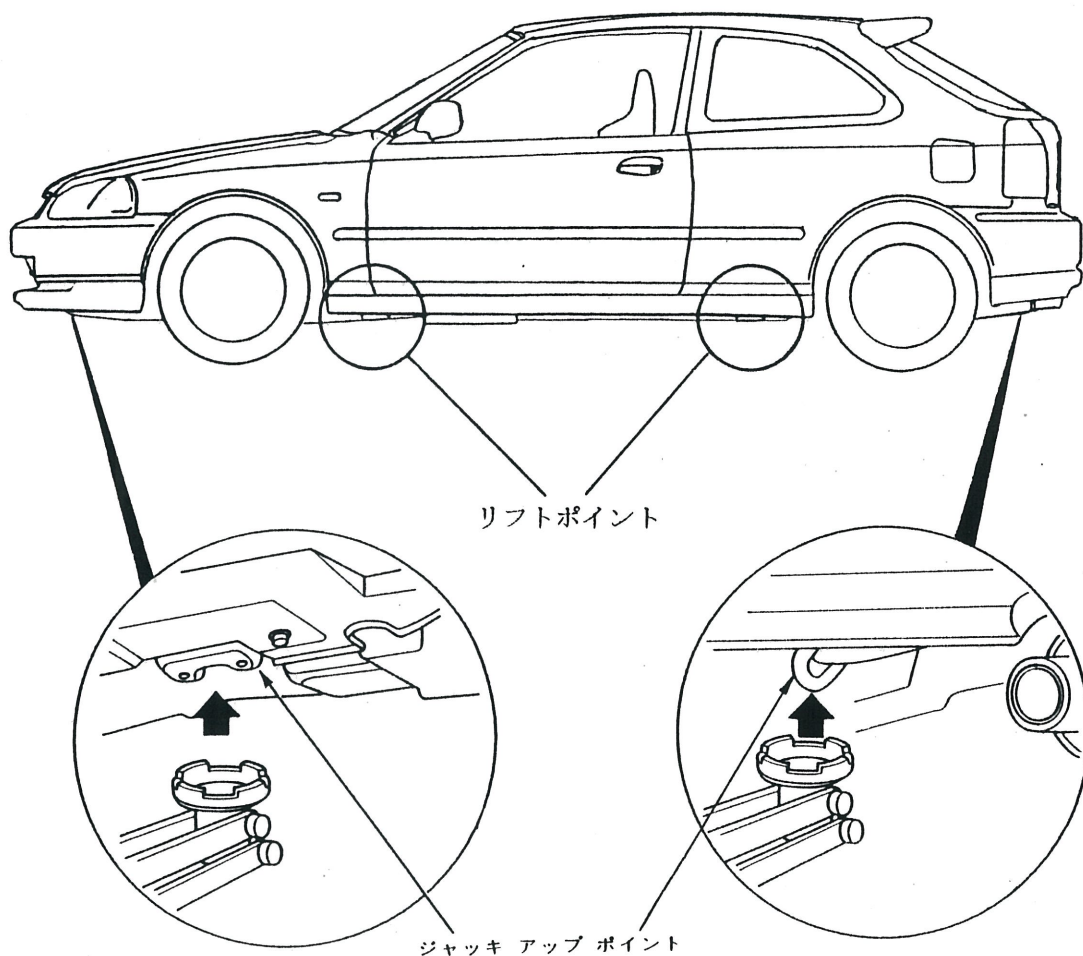
<必要工具>

- ・メガネレンチ 12, 14, 17mm
- ・ソケットレンチ 12, 14, 17mm
- ・トルクレンチ
- ・カッター

<取り付け方法>

準備

- ①各車輪のホイールナットを緩める。
- ②リフトアップまたはジャッキアップし、サイドシル補強部にリジットラックをあてがう。
- ③リフトアップまたはジャッキアップ状態の安全を確認する。



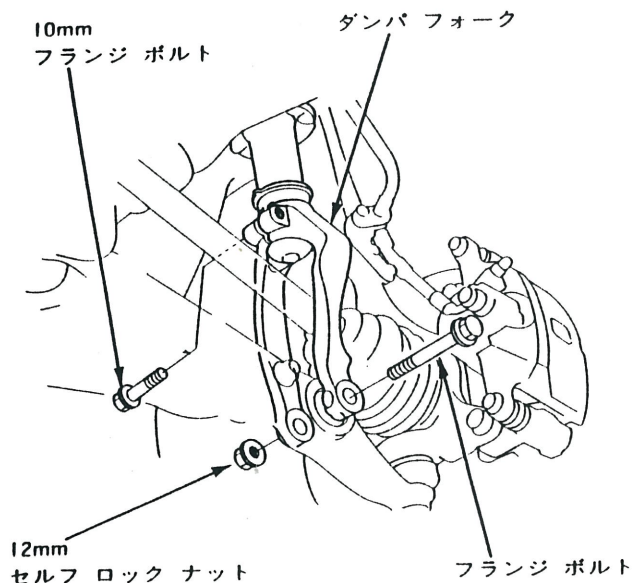
注意

- ・指定した位置以外でリフトアップしないこと。
- ・ボディに傷をつけないように注意する。
- ・リフト使用時は、必ずリフトの取扱説明書を参照し安全に注意し作業を行うこと。
- ・ジャッキアップ後は、必ずリジットラックを使用すること。
- ・短時間の作業でもジャッキのみでの作業は絶対しないこと。
- ・ジャッキアップしたままで、車両の下には入らないこと。
- ・フロントをジャッキアップする時は、パーキングブレーキを必ずかける。
- ・リヤをジャッキアップする時は、ギヤを1速に入れる。

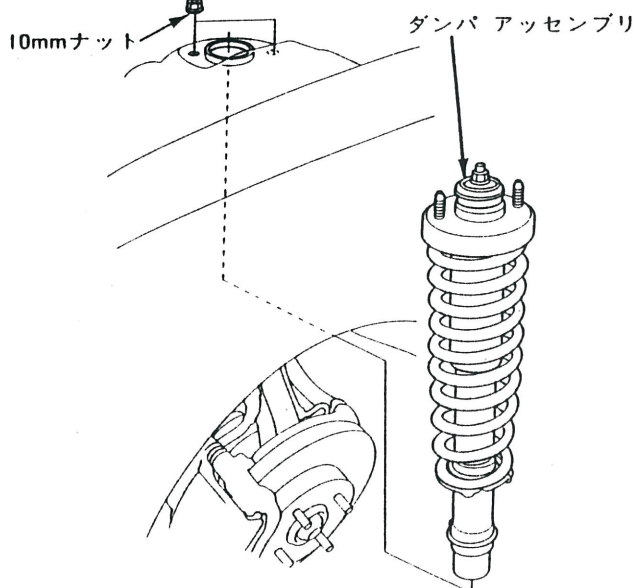
1. フロントダンパの車両への組み込み

STDフロントダンパの取り外し

- ①フロント ホイールを取り外す。
- ②10mmフランジボルトを取り外す。
- ③12mmセルフロック ナット、フランジ ボルトを外し、ダンパフォークを取り外す。



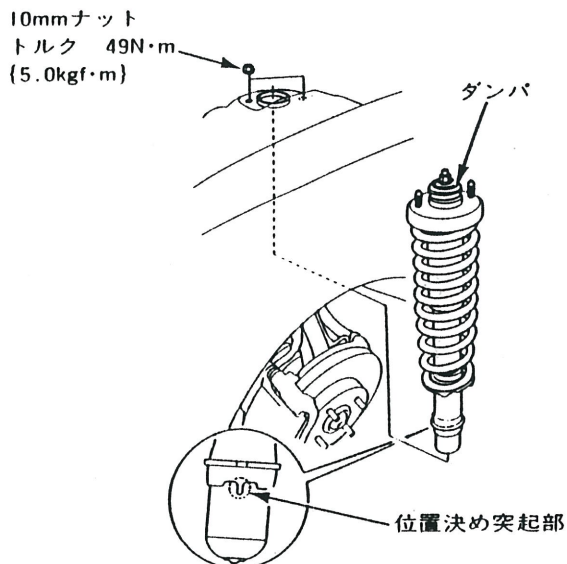
- ④ダンパ上部の10mmフランジナットを外し、ダンパアッセンブリを取り外す。



MUGENフロントダンパの組み込み

- ①ダンパの位置決め突起部をフレームの内側に向け、10mmフランジナットでダンパをフレームに仮付けする。

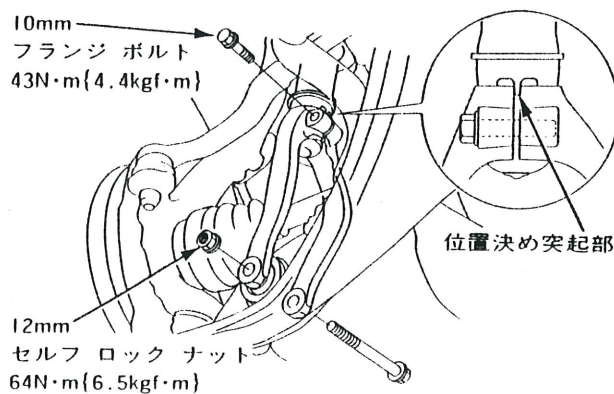
◆左右のダンパを逆に組み付けないよう注意すること。



- ②ダンパーフォークをドライブシャフトにまたがせてから、ダンパの位置決め突起部をダンパーフォークの溝に合わせ、ダンパロック ボルトで仮締めする。
- ③ダンパーフォークをロアアームに仮付けする。
- ④ナックル下部をジャッキで持ち上げ、ダンパ アッセンブリに車重をかけた状態にする。

◆ラバーブッシュ部の締め付けは、通常の車重がかかった状態までダンパを縮めてから本締めを行う。

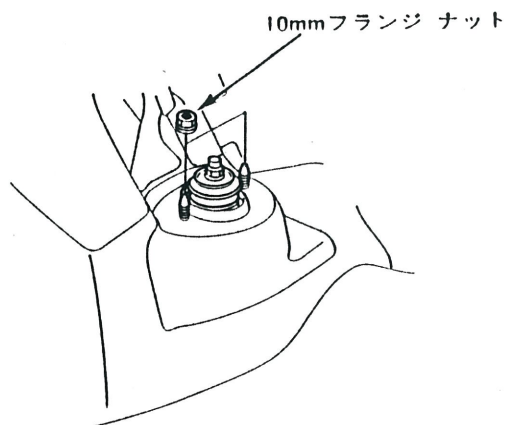
- ⑤10mmフランジ ボルト、12mmセルフロック ナットを締め付ける。①で仮付けした10mmナットを締め付ける。



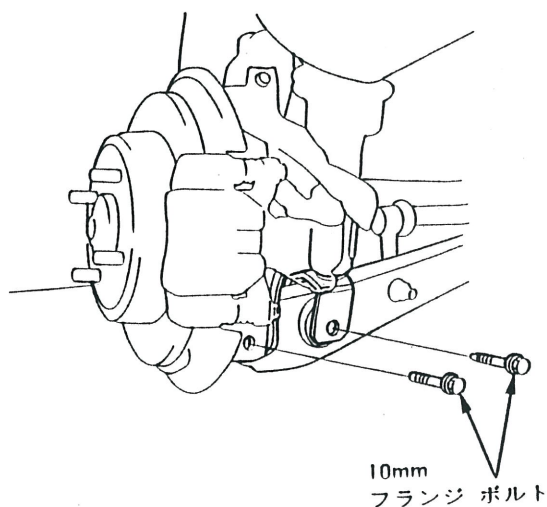
2. リヤダンパの車両への組み込み

STDリヤダンパの取り外し

- ①リヤ ホイールを取り外す。
- ②リヤサイドライニングを取り外し、ダンパー減衰力調整用の切り欠き部を加工する。(次頁を参照)
- ③10mmフランジナットを取り外す。



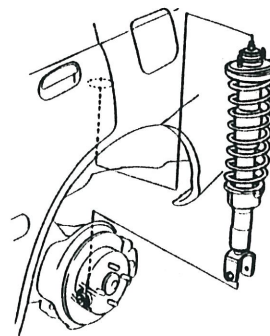
- ④10mmフランジボルトを取り外す。



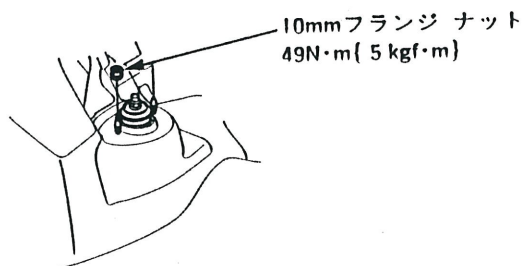
- ⑤リヤサスペンションを下げ、ダンパを取り外す。

MUGENリヤダンパの組み込み

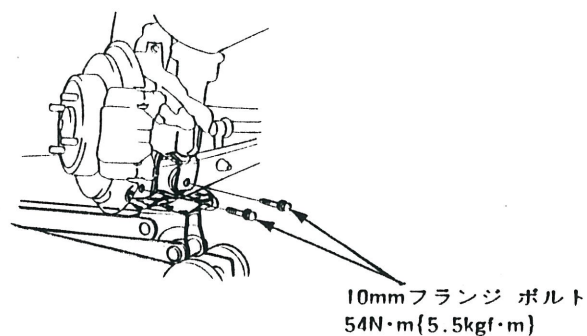
- ①ダンパアッセンブリを正規の位置にセットする。



- ②ダンパ上部に10mmフランジナットを仮付けする。
◆締め付けは、車重のかかった状態で行うこと。



- ③ジャッキでナックル下部を持ち上げ、ダンパ アッセンブリに車重がかかった状態にし、取り付ける。
◆通常の状態までダンパを縮ませてから本締めを行う。



- ④②で仮付けした10mmフランジナットを締め付け、取り外したリヤサイドライニング等を取り付ける。

注意・無限サスペンション取付後はSTDサスペンション取付時よりも車高が下がるので、ジャッキを下ろす際は、十分注意する。

・車高の調整は別紙を参照のこと

- ⑤前後ホイールを取り付け、ホイールアライメントの点検、調整を行う。

リヤサイドライニングの取り外し、加工

- 注意** ・シートクッションやシートバック、ライニングなどに汚れや傷をつけないように作業すること。
・マイナスドライバ等を使う場合は、周囲に保護テープやウエスを使用する。また、ドライバの先にテープを巻き付けて傷付きを防止する。

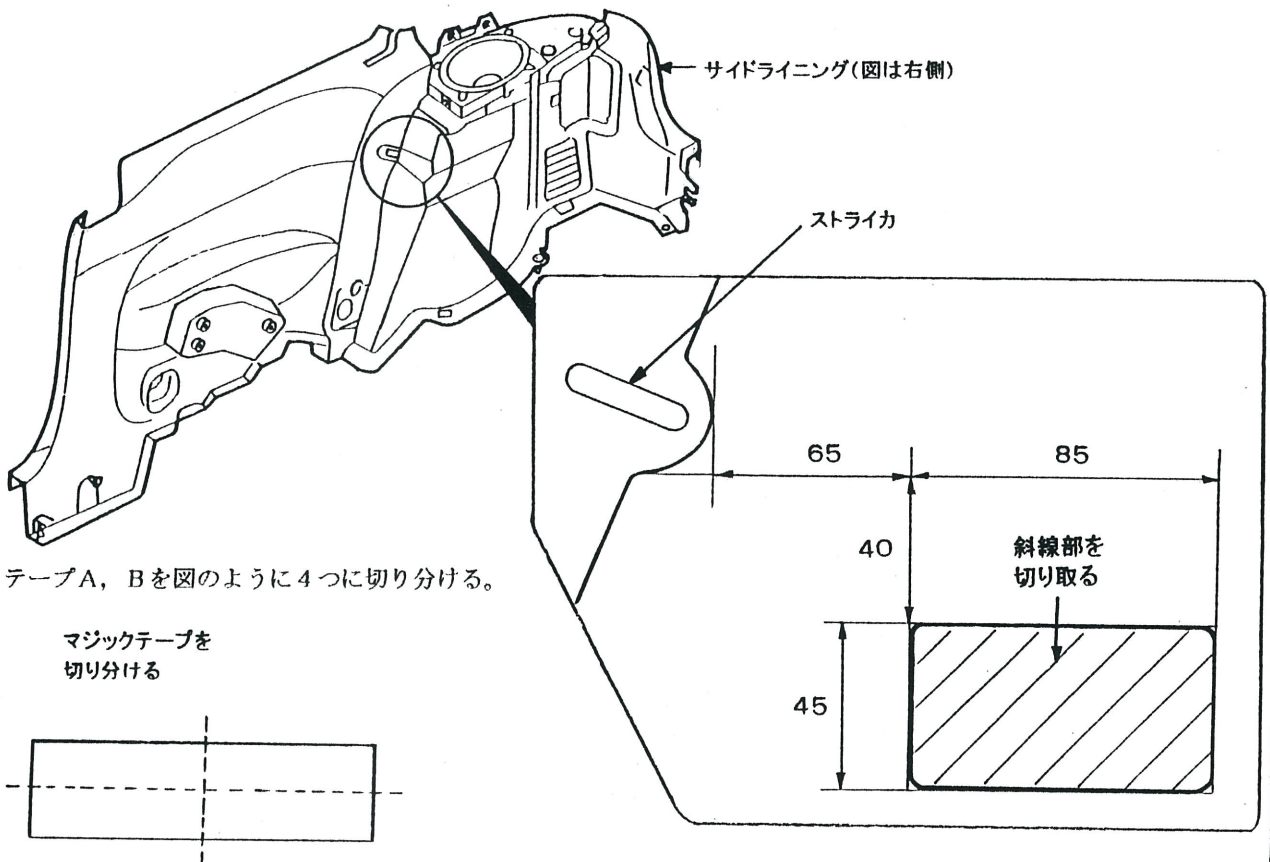
《サイドライニングの加工》

この作業は、リヤダンパの減衰力調整を簡単に行うために、サイドライニングに切り欠き加工をおこなうものです。

リヤスピーカー未装備車は、切り欠き部を作らなくても、リヤサイドトレイを取り外せば、減衰力の調整が出来ます。

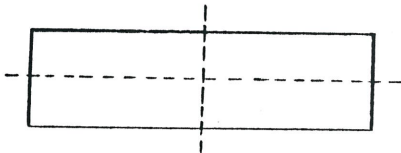
- ①リヤサイドライニングの図の部分（リヤシートのカスタム部分）を基点として、切り欠き部をけがき、カッター等で切り取る。

注意 カッターで手を切らないよう注意して作業すること

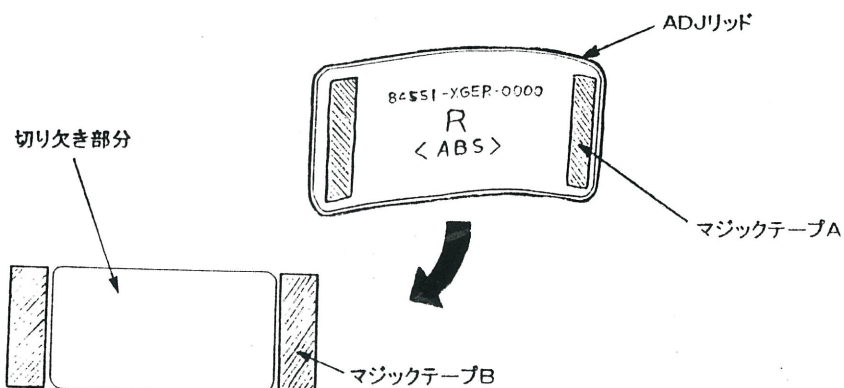


- ②マジックテープA、Bを図のように4つに切り分ける。

マジックテープを
切り分ける



- ③リヤサイドライニングの加工した部分の両脇と、ADJリッドに図のようにマジックテープを張り付ける。



ADJUSTABLE DAMPER

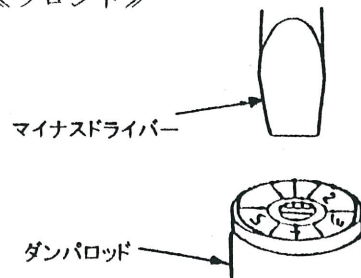
減衰力調整方法

- ◇ このダンパーキットは、ダンパーロッド先端のクリックを回すことにより、前後とも5段階に好みの減衰力に調整できます。
セッティングの変更にご活用下さい。

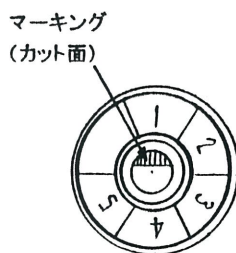
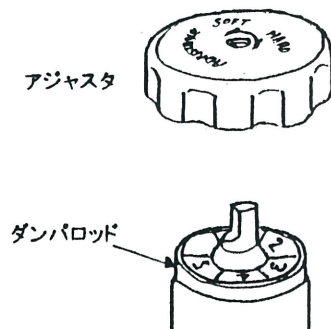
注意 左右違う減衰力で使用すると、走行安定性が悪くなります。
必ず左右同じ減衰力にセットして下さい。

- ①調整は、フロントの場合はボンネットを開け、ダンパーロッドの先端をマイナスドライバー等で調整して下さい。リヤの場合はADJリッドを開け、付属のアジャスタで調整して下さい。
- ②図のように、ロッド先端のマーキング（切り欠き）が減衰力の設定の段階を示し、1、2、3・・・と順々に減衰力を高く出来ます。切り替えは、それぞれのクリック（ひっかかる場所）に合わせます。

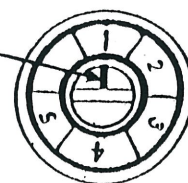
《フロント》



《リヤ》



マーキング
(切り欠き)



図は1段の状態

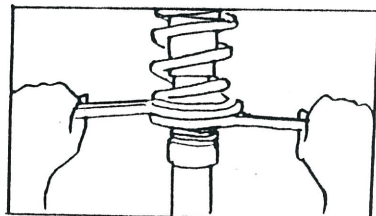
図は1段の状態

	減衰力(0.3m/s)		伸び側/縮み側		スタンダード比 (%)	
	5段	4段	3段	2段	1段	
フロント	132/112	127/109	116/107	109/104	97/101	
リヤ	143/125	137/115	132/111	125/109	119/106	

車高調整方法

- ◇ このダンパーキットは、4輪の車高バランスを補正するための調整機構がついております。
単に車高を下げるためだけのものではありませんのでご注意ください。

- ①出荷時の状態で装着する。
- ②コーナーウェイトが最適となるよう車高を微調整する。
- ③コーナーウェイトがとれない場合は、車高バランスの微調整をおこなう。
- ④前後トアの調整をおこなう。



市販の車高調レンチ、ひっかけスパナ等で
ロックナットをゆるめる

